

市民活動センター登録 団体の交流会を開催



コラボしてイベントを開催してみたいといった声も！

市の地域課題を解決するため活動している登録団体同士の交流会を5月14日(火)、にぎわいの里のいちカミーノ内にある市民活動センターで開催し、16団体約30人が参加しました。

それぞれの活動内容の紹介や、市民活動センターをどう使っていきたい？どうすれば使いやすい？といったテーマのもと、多くの意見が飛び交いました。普段は別々の活動をしているも野々市市で活動する者同士、思いを共有し合う貴重な時間となりました。

金沢工業大学学友会と アダプトプログラムを調印



金沢工業大学学友会の及川さん（環境建築学部4年・左）と八尾さん（工学部4年・右）

アダプトプログラムとは、公園や道路など公共の場所を養子に見立て、市民が里親となって清掃や除草などを行う取り組みです。歩道などに立つ認定サインボードを見たことがある人も多いのではないのでしょうか。まちがきれいになるだけではなく、自分たち自身でまちをきれいにすることで、地域への愛着が深まるという相乗効果も期待されます。

市では、平成14年に中林の「林口用水遊歩道」でこの制度を初めて導入。現在、町内会や企業、学校などが参加し定期的に道路や公園の清



扇が丘地内での清掃の様子（㈱北野組）

市民活動センター、
アダプトプログラムに関すること
☎ 市民協働課 ☎ 227 - 6029

掃や除草を行っています。

6月3日(月)、金沢工業大学学友会が44団体目として新たに参加。今後、大学周辺のせせらぎ公園とたかはし公園で年4回ずつ活動を行っていく予定です。学友会会長の八尾さんは「活動を、まちと関わるきっかけにしたいと思っています。いずれは地域の人と一緒に活動してみたいです。」と話してくれました。

身近なことから始める市民協働の形。「自分のまちに関わりたい」というその思いが市民協働への第一歩です。

今年採択されたのは・・・

提案型協働事業採択事業決定

6月8日(土)、にぎわいの里のいち カミーノで今年度の実施事業を決定する審査委員会を開催しました。応募があった7団体中6団体が、書類や公開プレゼンテーションによる審査を通過。今後、市と協力し事業に取り組んでいきます。今回採択を受けた団体と取り組み内容を一挙に紹介します。



7分間のプレゼンテーションで活動内容を説明。真剣な発表の様子に、会場全体が緊張感に包まれました。

迷路で災害時の正しい判断 10 秒チャレンジ！



防災・減災プロジェクト SoRA

防災意識や知識の向上を目指して、防災クイズを設置した迷路を作ります。回答時間を10秒とすることで楽しみながら学習できるように工夫します。

「のっティバスどこ」の長期運用にチャレンジ



金沢工業大学 BusStop プロジェクト

のっティの運行状況を表示するシステムである「のっティバスどこ」（試作中）の改良を実証実験を通して行い、実用化を目指します。

4D2U/Mitaka の「語り手」育成活動



カルチャー&サイエンス・コミュニケーション・プロジェクト

仮想宇宙空間シミュレーションソフト『4D2U/Mitaka』を使った講座を開催したり、スタッフとなる「語り手」を育成することで、市民の科学活動の機会を増やします。

石川の旬な野菜を食べる「のの市野菜倶楽部」



特定非営利活動法人アグリファイブ

調理実習や農業体験、マルシェの開催を通して、旬の野菜を知る機会を増やし、市民が気軽に野菜を食生活に取り入れられる環境をつくれます。

Design a More Attractive Nonoichi: 外国人住民にとっても住みやすい街づくりを



金沢工業大学 Design for the Community

にぎわいの里のいち カミーノの外国人向け施設紹介を作成します。施設を利用しやすくなることで、外国人の市民との交流や文化活動への参加機会を増やします。

ヤーコン関係人口でつながる野々市健康ブランドづくり



金沢工業大学 ヤーコンプロジェクト

健康食材であるヤーコンのアンケート調査や将来ビジョンの策定を行い、ヤーコンに親しむ市民や関係人口を増やし、「健康のまち野々市」としてのブランド化につなげます。